

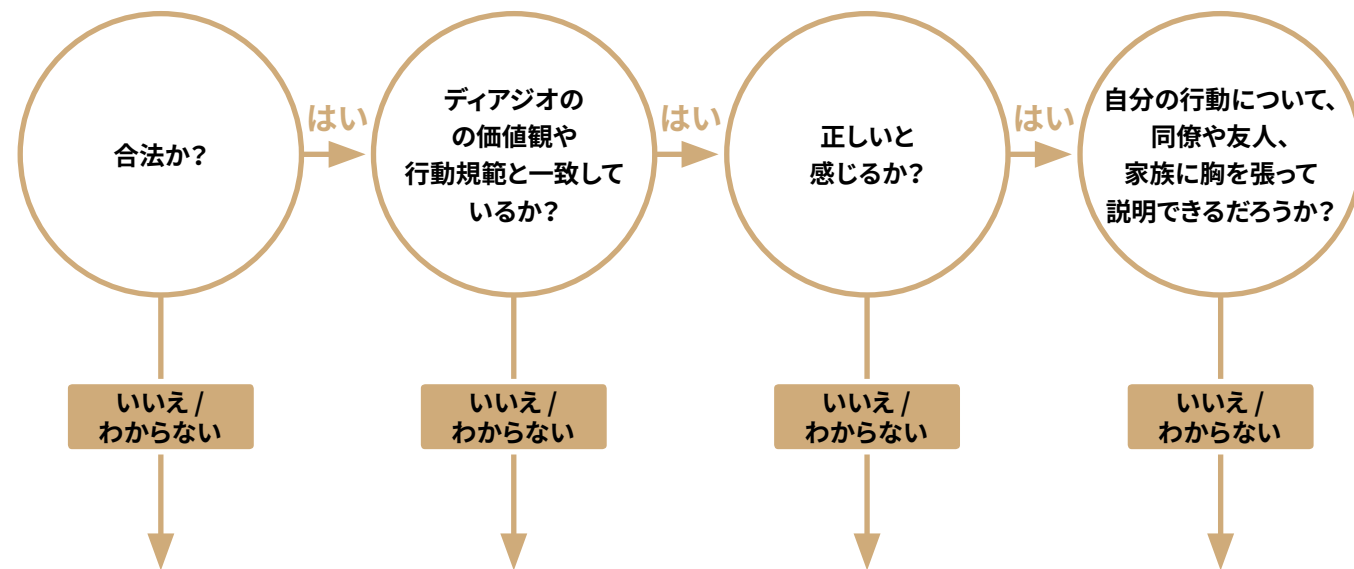
DIAGEO

行動規範

私たちは皆、 どんなときも正しく行動できる

私たちは、ディアジオの価値や目標に従った職務を遂行しつつ、良識や判断に基づいて正しい選択をおこなうことを期待されています。
当社の行動規範やポリシー、基準等に求める指針が見つからない時には、まずは次の質問を自分に問いかけてみましょう。

自分の行動は、ディアジオの目標や価値観に沿っているだろうか？



立ち止まって、指導やアドバイスを求めましょう。

上の質問への答えのうち、ひとつにでも「いいえ」や「わからない」がある場合には、そのまま進んではいけません。

推測で答えを出さずに、必ず他の人に尋ねてください。
誰に指導やアドバイスを求めるべきか、また懸念事項の相談方法に関する指針は、
45ページ(裏表紙内側)を参照してください。

当社の目標

いつでも、どこでも、人生を祝って

当社の価値観

取引先様や消費者のお客様
に熱意を持って接する
常にベストを目指す
成功する自由を与える
自らの成果に誇りを持つ
お互いの価値を認める

当社の行動規範

私たちは、社の事業に関心をもち、企業倫理・行動規範において最高水準を保つことを約束します

私たちには、社員がそれぞれ倫理に基づく行動を取るとともに、当社の職務およびあらゆる場所での毎日の生活すべての礎となる価値観や行動様式を体現することが求められています

社員の皆さんへ

当社は、世界一の成果を挙げ、世界一の信頼と敬意を受ける消費者製品企業となることを目指しています。この目標を達成するには、当社と関わりをもつすべての人々からの信頼や敬意を積み重ねていく必要があります。当社は、原料から瓶詰めに至るすべての工程を適切な方法で管理することを、すべてのステークホルダーに対するコミットメントに掲げています。ディアジオのビジネス行動規範は、当社の事業の重要な一部分であり、その大使として、社員としての責務の理解を深めることを目的としています。

当社には、当社の多くの偉大なブランドの創始者を含む非常に優れた人々が何世代にもわたって築き上げてきた価値観を礎に、当社の事業や社風が形成され、またその価値観が現在の業務のインスピレーションとなり指針となっているという、大変恵まれた土台があります。私たち社員一同が、ディアジオの世評や社風、さらには世界的な有名ブランドを担っているとともに、それぞれに事業の力を維持し、より良い形で次世代へと受け継いでいく責任があるのです。

皆さんに求められること

各社員には、各自が責任をもって、最高水準の誠実さを体現していくことが期待されています。職務や肩書、勤務地に関わらず、全社員が、常に当社の行動規範、ポリシーおよび基準に従うとともに、関係法令ならびに職務に関連する業界基準を順守しなければなりません。

しかし、日々直面するあらゆる状況に対応できる規範やポリシー、基準というものは存在しません。だからこそ、各自の良識や判断力を用い、当社の価値観や目標に沿って行動することが大切です。迷うような状況に直面したら、必ず尋ね、懸念があれば、必ず声をあげてください。

ディアジオに期待してもらいたいこと

社員の皆さんは、会社から信頼やサポートを受け、一人ひとりが最大限に力を発揮する自由を与えられたインクルーシブで多様な社風の下で働くことができます。

ぜひ当社の行動規範を熟読して理解を深め、上司のサポートも得ながら、各自の責務を理解し、誰に助けを求めるべきなのか、どうすれば報復を恐れることなく懸念に対して声をあげられるのかを理解してください。ディアジオが努力の上に築き上げてきた評判やブランドは、社員一人ひとりの手に委ねられているのです。社員一人ひとりが、日々のあらゆる場所で良き判断を下せることを示し、自らの仕事の成果やその過程に誇りを持ち続けてほしいと願っています。

ご協力に感謝します。

Ivan Menezes
最高経営責任者

Ivan Menezes



目次

●	行動規範ガイド	04
	私たちの責任	05
●	個人のインテグリティ	06
	ディアジオおよび社会の利益を再優先にした行動への責任	
	責任ある飲酒	08
	インサイダー取引	09
	利益相反	10
●	当社の企業インテグリティ	12
	ディアジオの世評を担う責任	
	マーケティングとイノベーション	14
	贈答と接待	15
	贈収賄と汚職	16
	政府と政治団体	18
	不正取引	19
	競争	20
	マネーロンダリングと脱税の促進	22
	制裁	23
●	当社の社員	24
	お互いの価値を認め、尊重し合う	
	健康、安全、個人のセキュリティ	26
	差別とハラスメント	27
	人権	28
●	私たちの資産と情報	29
	所有者としての行動	
	情報管理とセキュリティ	30
	データプライバシーと個人情報	32
	企業の所有物とリソース	33
	事業記録	34
●	当社のリーダーシップとパートナーシップ	35
	私たちが築き上げてきた関係を誇りに	
	品質	36
	環境	37
	慈善活動	38
	社外コミュニケーションとソーシャルメディア	40
	顧客や業者、その他の取引先との関係	42
●	必ず読んでもらいたい項目	43
	ヘルプ、アドバイス、懸念事項の相談	45

行動規範ガイド

この行動規範は、当社の目標や価値観、ならびに関係法令や業界基準に沿った事業活動を行っていくために、目的や価値観をまとめ、全社および個人としてのコミットメントを提示することを目的としています。

当社の目標と価値観	当社の目標や価値観は、当社の事業の礎であり、私たちの在り方を決め、当社の成功を支えるものとなります。
行動規範	行動規範は、当社の事業活動の主要領域に関する情報源となり、私たち各自が社員として担うべき責任の概要を示します。続いてのセクションでは、社員の皆さんの行動を決定する基本原則に関する指針を示しています。
当社のグローバルポリシー	当社のグローバルポリシーや基準は、行動規範をサポートするものであり、詳しい情報や指針を与えるものとなります。勤務地に関わらず、職務に関連するグローバルポリシーおよび基準に従う必要があります。 <u>当社のグローバルポリシー</u> では、大半の社員に関連する領域を広くカバーし、当社の事業活動に全世界的に適用すべき原則をまとめています。
当社のグローバル基準	<u>当社のグローバル基準</u> は、特定の事業活動について全世界的に適用すべき原則をまとめたものであり、一般的にやや専門的な内容となります。
現地のポリシーおよび法規制	さらにそれぞれ現地ポリシーや法令等に従う必要がありますので、各自の職務に関連するポリシーや法令を知っておくことは欠かせません。

行動規範にお探しの内容が見つからない場合は、表紙内側の正しい行動を」ガイドをご覧ください。また、誰に指導やアドバイスを求めるべきかや、懸念事項の相談方法に関する情報は裏表紙内側も併せてご覧ください。

私たちの責任

社員一人ひとりが当社の価値や世評の責任を担う者として行動する必要があります

信頼される事業者であり優れた職場としての企業の評判を守る責任は、社員一人ひとりが担っています。社員それぞれが倫理に基づき、当社での職務の礎となる価値観や行動様式を体現することが求められています。具体的には、全社員が常にこの行動規範および当社のポリシー、基準に従うとともに、関係法令ならびに職務に関連する業界基準を順守しなければなりません。それができない場合、ディアジオの世評に傷をつけたり、ディアジオに経済的損失がもたらされたりすることにつながり、最悪の場合解雇を含む懲戒処分の対象となるのみならず、民事・刑事責任を問われることもあります。

管理職の職務

行動規範およびポリシー、基準は、職務や肩書に関係なく全社員に適用されますが、特に管理職につく社員には模範としての役割も求められています。管理職につく社員は、自分の部下であるチームの全員が自らに求められていることを理解するための指導、研修を必ず受け、リソースを利用できるようにしておく必要があります。

行うべきこと:

- 当社の価値観を体現し、正しいことのために行動を起こす
- 当社の行動規範やポリシー、基準を知り、チームの部下にも周知する
- チームの部下が正しい行動を取れるように指導し、正しい行動を評価する
- 懸念事項があれば共有できるようにし、相談してきた社員をサポートする
- 懸念事項を報告したことに対し、報復行為が行われないようにする

社外ビジネスパートナー

当社の価値観を理解し合えるパートナー企業との事業を求めています。当社では、全提携事業者に対して、当社の行動規範に示されているような事業倫理を明確に実行していただくように強く働きかけています。また、ディアジオの代理として事業活動を行うすべての団体には、当社の行動規範およびポリシーに従った行動を取ることを求めています。

提携事業者との関係構築に責任をもつ社員は、各事業者が当社の基準に沿って事業を行っていることを必ず確認してください。指針についてはp42を参照してください。

A bartender with dark skin and curly hair, wearing a black shirt, is pouring a golden-orange liquid from a black shaker into a martini glass. He is holding a metal strainer over the glass. The background shows a bar with various bottles and glasses.

個人の インテグリティ

ディアジオおよび社会の利益を
再優先にした行動への責任

責任ある飲酒
インサイダー取引
利益相反

責任ある飲酒

私たち全員が責任ある飲酒の大使です

私たちは自らの行動に誇りをもち、ディアジオ社内、社外の双方において、飲酒をする成人は責任ある飲酒を、という当社の企業文化を広めています。社員全員がディアジオの世評を担い、節度ある行動を積極的に推進するアンバサダーとして行動する必要があります。私たちは、当社のブランドを責任もってマーケティングしていくと同時に、政府や社会、個人、NGO（民間非営利団体）および他社との協力の下、過度の飲酒や飲酒運転、未成年者の飲酒などといったアルコール濫用問題に取り組んでいます。

正しい行動を

行うべきこと:

- 飲酒を選ぶ場合には、バランスの取れたライフスタイルの一環としてお酒を楽しむ
- 仕事の成果や判断に飲酒が影響を与えない
- 各市場の法定飲酒年齢を守り、飲酒関連の規制に従う
- 飲酒関連の問題を抱えている場合には、自ら医師の診察を受ける
- 飲酒に関わる違反を犯したり、逮捕されたりした場合には必ず上司に報告する

DRINKiQ

いつでも、どこでも、人生を祝って」は当社の目標であり、社員の皆さんや消費者の皆さまには責任をもって楽しんでいただくことを推奨しています。DRINKiQの取り組みを通じ、当社では責任ある飲酒の認知を高めるとともに、飲酒や禁酒に関して知識に基づいた選択ができるような情報を提供しています。また、ディアジオ商品のすべてのラベルにDRINKiQ.comを表示して周知を図り、当社の全社員に対しDRINKiQ研修コースの受講を義務付けています。

Q 昨日、担当の1チームが酒の臭いをさせて出勤した上、大切なミーティングの準備ができていませんでした。そのチームの人は気分が悪くなってしまい、ミーティングを途中退席しなければならず、私が介入する必要が生じました。こういうことが起こったのは初めてではなく、何度も起こることで仕事の成果にも影響が出ています。どうしたら良いでしょうか。

A 仕事の成果に影響を与えるような飲酒をしてはいけません。こういった場合、個人だけではなく事業にもマイナスの影響が出る可能性があります。まず、本人に飲酒問題の自覚があるのであれば、地域の労働安全衛生チームなどに指導を求めるようにアドバイスしてください。次に、仕事の成果を管理する最善の方法について、所属地域の人事部に指導やアドバイスを求めてください。

Q 友だちの誕生祝いで夜に出かけた後、車を運転して帰宅途中で警察の検問に止められ、地域の飲酒運転の法定限度を超えていたことが見つかってしまいました。誰に迷惑をかけたわけでもなく、自分のプライベートな時間でのことでもあり、仕事で運転する必要もありません。この件を報告する必要があるでしょうか。

A この出来事がプライベートの時間に起こったのは社にとっては不幸中の幸いですが、必ず上司に報告する必要があります。当社の全社員には「責任ある飲酒」の模範となる責任があるからです。DRINKiQウェブサイトには、飲酒および禁酒に関して知識に基づいた選択ができるような情報が掲載されています。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p43を参照してください。](#)

インサイダー取引

ディアジオが保有する情報を不正な利益授受に利用することはできません

多くの社員に、職務上、ディアジオグループ企業の財務業績や今後の事業計画を目にする機会があります。そういった「内部情報」を、ディアジオおよびディアジオグループ内の上場企業の株式・証券取引に利用することは「インサイダー取引」とみなされ、イギリスやアメリカ合衆国をはじめとする多数の国で犯罪とされています。インサイダー取引に関する規則を順守することは、社員各自の責任です。

内部情報、もしくはアメリカ合衆国内の「非公開情報資料」は、一般に公開された場合、株価に大きな影響を与えたり、投資家による株式売買の判断を左右したりする可能性のある未公開の情報です。株式売買や株式オプション制度の行使および利用開始・終了、証券としての株式譲渡などの取引はすべて、内部情報を有する社員には禁止されています。インサイダー取引に関する規則は、社員本人による取引の以外にも内部情報に基づいた取引を他者のために手配した場合にも適用されます。また、ディアジオ退職後にも適用される場合があります。

通常、ディアジオがある社員を「クローズド期間」の「インサイダー」とであるとみなす場合には、社内秘書室からの指示があります。ただし、インサイダー取引に関与しないという最終的な責任は各個人にあります。

正しい行動を

行うべきこと:

- 不安がある場合には、ディアジオの株式を取引する前に社内秘書室（[Mosaicに詳細情報が掲載されています](#)）を確認する

Q 上級管理職者の秘書をしています。あまり詳しく読んだりはしませんが、職務上、数多くの機密情報にアクセスすることができます。ディアジオの持ち株の一部を売却したいと思いますが、同僚の1人から「内部情報」にアクセスできる立場にあるため、してはいけないことではないかと指摘を受けました。本当でしょうか。

A 通常、一般に公開されておらず、株価や投資家に影響を及ぼす可能性のある情報をもっている場合には、内部情報をもっているときみなされる可能性があります。ただし、あらゆる機密情報が必ず内部情報とみなされるとは限りません。株式の売却の前に、社内秘書室に相談してください。

Q 自分の立場上、内部情報を把握しているため、ディアジオの株式の売買が制限される場合があることを自覚しています。しかし、家族がディアジオの株を買いたいと言っています。自分の仕事のことは話していないので、問題はないでしょうか。

A こういった状況では十分に注意し、ご家族に今まで話された情報がいずれも内部情報とみなされることがないと言いきれるようにする必要があります。まずはご家族に株式の購入を待ってもらい、社内秘書室に相談の上、許可されることと許可されないことについてのアドバイスを受けてください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p43を参照してください。](#)

利益相反

私たちには常にディアジオの利益を再優先にした行動を取る義務があります

それぞれの個人的な利益や家族の利益、経済的、政治的などさまざまな利益が、会社への忠誠心やディアジオとしての正しい判断の妨げになる場合には、利益相反となることがあります。ディアジオでは全社員に対し、会社との利益相反が起こる可能性がある場合には、慎重に考慮した上で正しい対処ができるよう、できるだけ早急に包み隠さず報告することを求めています。多くの場合、上司に打ち明けるだけで問題解決になりますが、複雑な状況の場合には、さらに対処していく必要が生じます。

正しい行動を

自分自身やディアジオの評判を損なうことのないよう、利益相反が起こる可能性がある場合には行動を起こしてください。

- 利益相反が起こる可能性について、直ちに上司に書面で報告する
- 報告内容と合意に達した対処法についての記録を残す
- ディアジオでの就労中に起こり得る、利益相反をもたらす可能性のある新たな状況や、報告済みの内容に変更を加える事態に注意し、これらの発生時には速やかに報告する

ある事柄に利益相反の可能性があるかどうか懸念がある場合（特にご自身がラインマネージャーで、報告を受けた事柄が利益相反に該当する可能性があるかどうか確信が持てない場合）は、常に承認前に確認作業を行い、現地のCC&Eマネージャーやディアジオ社内法務部、人事部等に相談してください。

Q 自分のチーム内に、募集中のポストがあり、自分の甥にびったりではないかと思います。ただ自分との関係を考えると甥に勧めることには不安があります。どうしたら良いでしょうか。

A 甥御さんがそのポジションに適格であり、その部署にとってプラスになると思われる場合は、ぜひ採用責任者または関連する人事担当者に相談してください。ただし、採用プロセスに関与したり、直接間接に関わらず自らの部下のポジションに採用したりすることはできません。

Q 顧客の1人と個人的に仲良くなり、社外でも会うようになりました。その人の娘さんの結婚披露宴に家族で招待を受けたので、披露宴に出席して、ご祝儀を渡したいと思います。大丈夫でしょうか。もちろん個人的に支払うつもりです。

A 仕事上の付き合いと個人的な付き合いが重なることはよくあります。大切なことは、その付き合いに利益相反が起こらないようにすることです。披露宴への出席やご祝儀を、ディアジオを代表する立場ではなく、個人の立場で個人の出費のもとにおこなっていることを明確にしてください。また、そのことを上司に報告するとともに記録に残してください。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は
[p43を参照してください。](#)

利益相反とは...

利益相反はさまざまな状況で起こる可能性があります。利益相反の例には次のようなものがあります。

自分にも利益相反の可能性があるのでしょ

次の質問にひとつでも該当する場合は、必ず上司に利益相反の可能性について相談してください。

ディアジオの事業に競合する可能性のある活動に参加すること。つまり他社の事業に関わったり、職務遂行能力に影響を与える可能性のあるディアジオ以外の会社との雇用関係を結ぶことなど。

直接間接に関わらず、ディアジオとの事業関係をもつ企業、またはディアジオとの間に利害関係のある企業と金銭的利害関係をもったり、そのような企業で報酬を得て働いたりすること。

個人または家族の利益や友人関係が職務上の決断に影響を及ぼしたり、その影響を疑われたりすること。家族や身近な関係にある人を雇用したり、部下にしたりすることを含みます。

業者や顧客、競合他社、その他ディアジオと事業関係にある企業から個人的な利益や金銭的利益を受けること。

会社の所有物や情報、リソースなどを、ディアジオが許可しない方法で個人または他者の利益のために利用すること。

ディアジオの顧客、業者、ジョイントベンチャーまたは競合他社と自身の関係が、社への忠誠を裏切っているように見えないだろうか？

今の状況が、ディアジオの最善の利益に基づいた判断力を鈍らせることになっていないだろうか？

自分がこの状況に関わることによって、自分自身または身近な人が利益を得る立場にあるだろうか？

自分の判断が、ディアジオの最善の利益に沿わないと疑われたりみなされたりする可能性があるだろうか？

その活動に参加することが、自分の職務遂行能力の妨げになるだろうか？





当社の企業 インテグリティ

ディアジオの世評を担う責任

マーケティングとイノベーション

贈答と接待贈

収賄と汚職

政府と政治団体

不正取引

競争

マネーロンダリングと脱税の促進

制裁

マーケティングとイノベーション

自社ブランドの広告・マーケティング活動は、常に責任をもって行います

当社は、ディアジオのマーケティング・プロモーション活動が、国際的にもっとも優れた活動として認知されることを望んでおり、当社のブランドが何百万人もの成人の皆さまに毎日お楽しみいただいていることを誇りにしています。しかし、無責任な飲酒が個人や社会の問題となっていることも認識しています。

ディアジオマーケティング規範(DMC)およびディアジオデジタル規範(ならびに添付のインフルエンサーおよびエンドーサー開示指針(Influencer and Endorser Disclosure Guidelines)や必須のグローバルソーシャルメディア指針(Global Mandatory Social Media Guidelines))は、すべてのマーケティングおよび/またはデジタルマーケティング活動に適用され、必ず従うべきものであり、そして当社のマーケティングは下記のような活動でなければならないと定めています。

- 必ず成人をターゲットとし、法が定めるアルコール類購入年齢に達しない未成年を対象としない
- 過剰な飲酒や無責任な飲酒を表現したり、煽ったりしない
- 当社のアルコール飲料ブランドについて、健康維持や治療効果、食事療法、機能的食品、機能増強などの効果を暗示しない
- 社会的に認められたり成功するために飲酒が必要であるという表現や暗示をしない
- 現代社会に広く受け入れられている美味しさや品位の基準が反映されるようにする

正しい行動を

行うべきこと:

- DMCをデジタルマーケティングを含むあらゆるマーケティングおよびプロモーション活動に適用する
- ディアジオの所属部署の指定に従い、あらゆるマーケティング活動に対する承認プロセスに準拠する
- ディアジオの代理としてマーケティング、プロモーション活動を行う広告代理店やデジタルエージェンシー等の第三者機関がDMCを必ず認識し、適用することを確認する
- 第三者がホストしているサイト上のアセットを含むすべてのデジタルマーケティングアセットが、ディアジオデジタル規範や関連データプライバシー手順(該当する場合、GDPRを含みます)に従い、調達部門が承認したディアジオのプラットフォーム上にセットアップされていることを確認する

Q 新商品のマーケティングキャンペーンを担当しています。プロモーションに使っている要素の一部が、10代の注目を集めるような気がします。どうしたら良いでしょうか。

A その懸念について上司に相談し、DMC(ディアジオマーケティング規範)承認者からのアドバイスを受けてください。当社のマーケティングは常に成人をターゲットとし、法定飲酒年齢未満の未成年者からの注目を主に集めるような形でおこなわれることがないようにする責任があります。

Q 他国のディアジオ社員から、社のあるマーケティング活動がDMCに準拠していないと苦情を受けました。現地では苦情を受けておらず、すべての活動はDMC担当者からの承認を受けています。何らかの対処の必要があるのでしょうか。

A 現上司と現地のマーケティングディレクター、DMCの関連事項専門担当者に報告し、DMC違反があるかどうかの判断を受けてください。現地法令は多様であり、DMCの基準よりも厳しい場合もあります。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は
[p43を参照してください。](#)

贈答と接待

不適切な贈答品や接待の授受は禁じられています。

贈答品や接待(G&E)の授受は、社外とのビジネス関係を構築し、良好な関係を生み出す役割を果たします。ただし、何らかの義務感を生じさせたり、そういう印象を与える可能性がある場合には、贈収賄とみなされるおそれがあるため、贈答品や接待の授受をおこなわないでください([p16を参照してください](#))。

正しい行動を

贈答品や接待の授受をおこなう場合には、必ずディアジオの贈答と接待に関する規則を守ってください。具体的には、下記を含むキーポイントを押さえてください。

- 「政府関係者」([p17の定義を参照してください](#))との間で、贈答品または接待の授受やそのための支払いをおこなう前には、必ずディアジオ社内法務部の承認を得る必要があります。
- いかなる状況においても、現金や現金等価物を贈答品として授受することは禁じられています。
- 以下のような場合は必ず上司の承認を得てください。
 - 会計年度1年間に、ある1個人または1団体との間で合計100ポンド*(または現地通貨相当額)以上の贈答品の授受をおこなう場合
 - 時々よりは頻度が多い、事業とは関係がない、または過剰もしくは不適切であるとみなされる可能性のある接待を行う場合
- 社外の者と贈答品の授受があった場合には、すべて贈答および接待記録簿に正確かつ漏れなく記録してください。
- 第三者である外部監査人との間で、許容されるおもてなしは除く贈答、接待、もてなしまたは恩恵を授受することは禁じられています。

*所属地域の方針が定める100ポンド以下の金額の場合もあります。

後援や取引に関わるインセンティブも贈答と同じでしょうか。

贈答とはみなされません。贈答とは、返礼や見返りが期待されないものを指します。当社では、後援や取引に関わるインセンティブの提供は、予め合意した事業上の利益を交換条件とする場合にのみに限定しています。

取引に関わるインセンティブおよび政府関係者が関与する後援の場合は、ディアジオ社内法務部の事前の承認が必要です。

詳しくは、Mosaic上の事前承認依頼フォーム(Pre-Approval Request form)内に掲載されている、政府関係者に対する贈答、接待および後援に関するガイダンス(Guidance on Gifts, Entertainment and Sponsorship for Government Officials)を参照してください。

現金相当の贈答とは...

金額を問わず、ギフトカードや商品券、金券といった現金相当の贈答品とみなされるものを事業提携者から受け取ることはできません。当社の方針により、現金または現金等価物を贈答品として授受することを禁じています。

Q 先日、お客様から50ポンド相当の食品詰合せが届きました。この同じお客様からは、今年初めにも1本40ポンド相当のワインが2本送られてきています。合計金額は100ポンド*を超えているものの、食品詰合せが送られてくることは事前に把握していなかったため、受け取る前にラインマネージャーの承認を得ることができませんでした。どうしたら良いでしょうか。

A 直属のラインマネージャーに直ちに連絡し、本会計年度中にこの顧客から送られてきた品について説明する必要があります。ラインマネージャーは、受取可能品であると判断した場合、書面にて受取りを認め、顧客に贈答のお礼を行った後に、G&E記録簿に該当する贈答品を正確に記録します。ラインマネージャーから承認されなかった贈答品は、顧客に返却する必要があります。腐敗しやすい品であるという理由や、顧客との関係に回復できない亀裂が生じるという理由などにより返却できない場合は、該当する品や申し出を、景品などとして市場で処分する必要があります。この事実も、G&E記録簿に記録しておく必要があります。

Q ベイリーズ(Baileys)の販促イベントを開催しています。イベントでは各参加者に50 ml入りの(ミニチュア)ボトルを渡しています。これらのサンプルを贈答品としてG&E記録簿に記録する必要はあるでしょうか。

A ディアジオ製品のサンプルサイズのボトルは、販促のためだけに使用される場合、贈答品とはみなされません。このためこの事実をG&E記録簿に記録する必要はありません。しかし、これらのサンプルボトルについては、いずれも広告および販促(A&P)のための支出として会計処理し、無料で頒布した商品として追跡できるようにしておく必要があります。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は
[p43を参照してください。](#)

贈収賄と汚職

当社は、どのような形であれ、贈収賄や汚職を容認しません

当社は、信頼と敬意を受ける事業者としての当社の世評を誇りにしています。当社では、直接間接を問わず、どのような形であれ、社員やディアジオの代理として事業活動をおこなう提携事業者による汚職を容認しません。また、事業上の利益のために賄賂やその他の不正な利益の供与を提案したり、授受したりすることはありません。この禁止事項は、金銭価値に関わらずあらゆる形の賄賂に適用されるものであり、また現金に限ったものではありません。

私たちの行為が贈収賄行為とみなされることのないよう、特に贈答、もてなし、接待、経費、顧客旅費負担、取引に関わるインセンティブ、政治献金、慈善寄付、ロビー活動、後援等の際には細心の注意を払う必要があります。また、事業提携者や政府関係者との関係によって、当社が贈収賄もしくは汚職のリスクにさらされることのないようにしてください。

すべての取引を社の会計および財務記録に完全かつ正確に記録しておくことが大切です。

贈収賄の申し出を受けた場合には、必ず拒否し、直ちに所轄のディアジオ社内法務部またはSpeakUpを通じて報告してください。

正しい行動を

行うべきこと:

- 「心づけ」(所定の政府手続きの迅速化を図るために少額の金品を支払うこと)や、ディアジオの商業的利益を得ることを目的とした何らかの形の不適切な金品の授受といった賄賂の申し出、許可、受領などを一切行わない
- 常に贈答および接待に関する規則や贈収賄および汚職の防止に関するグローバル方針を順守する。
- あらゆる会計・財務記録が漏れなく正確に記録されていること、それぞれの業務取引がおこなわれた相手が明確であること、また未公表、未記録、あるいは記録があいまいな業務取引がないことを確認する
- 政府関係者または事業提携者への現金の支払い要請は、その金額に関わらず、所轄のディアジオ社内法務部に照会する
- 個人的な利益のために、いずれかの事業提携者に対し支払いを求めることはしない
- ディアジオを代表して特定の事業提携者と関係を築く前には、当社の「事業提携者を知る」(KYBP) 基準に従い、その事業提携者が贈収賄や汚職のリスクをもたらしないかどうかを確認する。
- 詳しくは、慈善活動 (p38)、政府と政治団体 (p18)、贈答と接待 (p15)に関連する行動規範の各セクションを参照してください。

Q 自社製品の通関通過のため、一般税関検査官に心づけを渡す必要があると言われました。顧客から早急に発送してほしいという要請を受けており、心づけを渡すことは自国では違法ではありません。どうしたら良いでしょうか。

A ディアジオでは、公務員の職務を滞りなく遂行するために金銭を渡すことを禁じています。英国贈収賄防止法では、要求がおこなわれた場所に関わらず、「便宜」や「円滑な業務」のために金銭を渡すことを違法としています。当社では法を順守し、そういった支払いが違法とならない国においても金銭の支払いを固く禁止しています。法に触れることなく、製品を確実に通関を通過させるための代替策については上司またはディアジオ社内法務部の判断を仰いでください。

Q 外国政府から必要な許可書を得るためには、コンサルタントを雇うのが最善だと聞きました。あるコンサルタントと面談したところ、報酬として5万ドル要求されました。当社が許可を得るにあたって、コンサルタントがその報酬をどのように使用するかを考える必要があるでしょうか。

A 当社の社員は、ディアジオの代理として政府関係者とやり取りを行う者と契約を交わす前に、適正な精査を実施する責任を担っています。コンサルタントを雇う前にはディアジオ社内法務部に相談して、適正な審査を行い、適切な条件で契約を結ぶようにしてください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p43を参照してください。

当社の行動規範における
政府関係者 (GO) とは...

軍や警察を含むあらゆる政府の部署に属する、あらゆる階級の役員および職員。

慈善事業や、国営のアルコール販売店およびメディアなどを含む、政府所有もしくは政府統括の事業に属する役員および職員。

大使館職員を含む、公的国際機関 (国際連合など) の役員および職員。

上記のいずれかのためにまたはいずれかの代表として公的な立場で活動する個人。

政党の役員および職員、ならびに公職の候補者。

王族、皇族。

現地法の下では「政府関係者」に分類されている個人。

いわゆるPolitically Exposed Persons (PEP; 政治的に影響力のある人物)、すなわち現職および元職のいわゆる政府高官の家族 (配偶者、パートナー、子供やその配偶者もしくはパートナー、または両親)、またはそのPEPと社会的もしくは職業的に密接な関係にあることが知られている者。

政府と政治団体

政府や政治団体には事前の承認がない限り関与しません

事業活動の一環として、ディアジオでは世界各国の政府関係者や政治組織のメンバーと関わる場合がありますが、必ず適正な形で関わらなければいけません。社員は現地マーケットのコーポレイトリレーションズ責任者からの承認を得ることなく、ロビー活動に関与したり、政府関係者や国会議員、政治家候補、その他の政府職員や公益組織と連携してディアジオの事業をおこなったりすることは禁じられています。

正しい行動を

行うべきこと:

- 政治活動の支持を目的として、ディアジオを代表して政治家や政党に金品を支払ったり、施設の無料貸与など物品やサービスを供与したりしない
- 政府関係者に対して贈答や接待、後援等の申し出、供与、支払いを行う前に必ずディアジオ社内法務部の事前許可を得る (p15贈答と接待を参照してください)。
- 職務において特定の政治団体とつながりができた場合には、利益相反を報告する (p10利益相反を参照してください)。

寄付金

ディアジオの通常の慣行では、政治献金または政治に関連した寄付や支出は行いません (非常に限られた状況で、グローバルコーポレイトリレーションズおよび法務部長から事前承認を得て行う場合でなければ)。

ディアジオの便宜を図ってもらうような決定を導くために、政党や政府に献金することを禁じています。政治団体に対する献金やその他の支援は、必ず透明性を確保し、適用法に従って行う必要があります。

個人的な政治的信条

ディアジオでは、社員に個人として合法的な政治活動に参加する権利を認めています。ただし、そういった活動を職場に持ち込んだり、ディアジオの資金やリソースを使用したりしてはいけません。特に、ディアジオでは、過激思想を扇動する活動や、文化の多様性や機会均等への当社のコミットメントを妨げるような活動には関わりません。

取引相手から、ディアジオの事業の便宜を図ることのできる知り合いの有力な政治家と面会するように提案されました。どうしたら良いでしょうか。

所轄のマーケットのコーポレイトリレーションズ責任者に相談し、承認を受けてください。承認を受けることなく政治家に接触しないようにしてください。状況に応じて、政治家に面会して報告するようにと助言を受けたり、取引相手の知り合いである政治家をコーポレイトリレーションズ部に紹介し、対処してもらうように指示がある場合があります。

あるイベントに参加していたら、政治家からディアジオの事業について話しかけられました。どうしたら良いでしょうか。

そのイベントに政治家が出席する可能性があることを事前に把握している場合には、事前に所轄のコーポレイトリレーションズ責任者に相談し、合意を得てください。偶然出会ってしまった場合には正直に対応するようにします。ただし、機密情報を漏らさないようにし、必要に応じて、その政治家にコーポレイトリレーションズ部を紹介することを申し出てください。

私の市場の所管政党がその創立記念祝賀会を企画しており、コーポレイトリレーションズ (CR) 部に対し、祝賀会の後援を依頼してきました。

ディアジオ社内法務部に連絡して、祝賀会の後援が政治献金とみなされるかどうかについての助言を受け、みなされる場合には、後援の実施が可能かどうかについて助言を受けてください。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は p43を参照してください。

不正取引

自社ブランドを偽造から守るため責任をもって行動するとともに、密輸などに関わらないようにすることが必要です。

偽造品と模造品

当社製品の優れた味と品質に対する消費者の皆さまからの信頼を確保していくため、当社では日々努力を重ねています。偽造品や模造品は、消費者が正規のディアジオ製品と混同したり、間違って関連付けてしまうことで、当社への信頼を損なう可能性があります。

「模造品」もしくは「コピー商品」は、JOHNNIE WALKERの代わりにJOHNY WALTERという名称を使うなど、当社の正規品と類似した名称やロゴ、パッケージ形状、商標、デザイン、色などを使用した製品を指します。偽造品とは、当社の正規品とまったく同様の外観であるにも関わらず、内容物は品質が劣っていたり、有害な物質を含むこともある偽物の商品です。正規品のボトルが再充填して使用される場合も多いようです。

偽造品または模造品である疑いのある製品を見つけた場合には、ディアジオが必要な措置を講じることのできるよう、すみやかに報告してください。措置には、商標、著作権、特許、企業秘密、ドメイン名などを含む当社の知的財産を保護するための法律の執行を含む場合もあります。

密輸

密輸品とは、適用される税を支払わずに輸入される商品を指します。当社製品は、他の消費者製品メーカーの製品同様、第三者機関により市場に密輸されることがあります。密輸の管理や推奨、その他のいかなる方法でも密輸への関与は許されません。

正しい行動を

- 偽造品や模造品、もしくは何らかの製品侵害の疑いのある製品を見つけた場合には、Mosaicの「Spot and Stop」から、もしくは直接、所轄のディアジオ社内法務部やブランド保証担当者に報告する
- 密輸の管理や推奨、その他のいかなる方法でも、絶対に密輸に関与しない。懸念はただちに所轄のディアジオ社内法務部に報告する

先日顧客の1人から、規制なく当社ブランドを仕入れている小規模小売店が数多くあり、その一部は偽造品である可能性もあるらしいと聞きました。どうしたら良いでしょうか。

情報をくれた顧客に、ブランドや店舗の具体的な情報など、事実に基づいた情報をできる限り提供してもらえるように要請するとともに、ディアジオが関係当局と協力して、その情報を用いて調査を行うことを説明してください。集めた情報をすべて所轄のブランド保証担当者とディアジオ社内法務部に引き渡すか、Mosaicの「Spot and Stop」から情報を送ってください。

最近バーで当社製品を飲んだ2人の友人が、2人とも何だか味がおかしかったと言います。報告すべきでしょうか。

必ず報告してください。「Spot and Stop」または、現地のブランド保証担当者またはディアジオ社内法務部に報告が届くと、担当者が詳細な調査を行います。当社製品の侵害はさまざまな形で生じる可能性があり、異物が混入された可能性や偽造の可能性が考えられます。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は p43を参照してください。

競争

世界中での自由公正な競争を保護し、促進することを目的として定められたすべての法律を順守する必要があります

誰もが成功する自由を求めています。しかし、その成功は必ず法の下で、当社の目標と価値観に見合った形で達成されなければなりません。世界の大半の国において、競合他社、顧客、流通業者、その他の第三者機関との取引を規制する競争法もしくは独占禁止法が定められています。競争法は、現地市場以外でおこなわれる業務も対象としている場合があります。

正しい行動を

行うべきこと:

- 所轄の市場に適用される競争法をよく知り、不明な点がある場合には法律で許可されていることについて、ディアジオ社内法務部のアドバイスを受ける

してはいけないこと:

- 価格もしくはその他の条件の設定;生産制限;地域、製品、顧客の配分;顧客もしくは業者との取引の拒否について、競合他社と合意や協議する
- 競合他社と企業秘密情報について話し合う(例:価格設定、コスト、マージン、取引条件、マーケティング計画、新製品の発売など)
- 事業者団体を利用して、顧客もしくは、プロモーションなどの商業的問題に対する共通アプローチを話しあったり、合意したりする

上記のようなことが生じた場に居合わせた場合には、その場を離れるか、その会話を中止し、直ちにディアジオ社内法務部に報告してください。

Q 同僚に以前競合他社で働いていた人がいます。元勤務先の来年度の価格戦略が今も個人用のノートパソコンに入っているらしく、見たいかと持ちかけてきました。どうしたら良いでしょうか。

A 競合他社の価格設定に関する情報を議論したり受け取ったりしてはいけないこと、またその情報をディアジオ社内の人に公開してはならないことを説明してください。必要に応じて、その同僚と上司もしくはディアジオ社内法務部担当者と、あなた自身での三者面談を設定し、今後の方針について話し合ってください。

Q 新商品の発売について小売店の担当者との会議をしている途中、その担当者が、自分のパソコンに入っている全競合他社が今後1年間に計画しているプロモーションの詳細情報のファイルを見せてくれました。どうしたら良いでしょうか。

A その担当者に、自分は競合他社の企業秘密情報にアクセスしてはならないことを伝え、ファイルを閉じてもらってください。その後、直ちにディアジオ社内法務部に報告してください。その際、自分が見た内容をメモしないことと、ディアジオ社内の人にその内容を漏らさないことを順守してください。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は [p43を参照してください。](#)

競合他社への対応

競合に関する情報を収集する際には、常に「ディアジオ競合を知る指針」に従ってください。

競合他社に企業秘密情報の提供を求めたり、情報を受け取ったりすることは許されません。

また、顧客や第三者機関に競合他社の企業秘密情報の提供を求めたり、情報を受け取ったりすることも禁じています。

ただし、価格交渉の最中に、顧客が自発的に競合他社の価格設定を比較した場合(たとえば、「Absolutの1ケースあたりの価格はSmirnoffよりも10ドル安い」など)、その情報の利用や保持は許可されています。

顧客への対応

ある顧客との取引条件を別の顧客と協議することはできません。また、顧客を利用して競合他社に企業秘密情報を渡してはいけません。

多くの国では、再販価格の合意や最低価格の設定、参考小売価格に従うように顧客にインセンティブを与える行為は違法とされています。

また、業者が競合製品の排除や顧客の再販を制限するような制約を課することも、多くの国で制限されています。

自分の市場に適用される規則を知り、うっかり違反してしまうことがないように注意してください。



マネーロンダリングと脱税の促進

当社は、マネーロンダリングや脱税の促進のリスクを軽減するために責任をもって行動しています

マネーロンダリングとは、犯罪により得た利益を変換して、合法的な資金源からの資金に見せかけるためのプロセスです。

脱税とは、意図的に税金を納付しない違法行為です。脱税の促進とは、個人または法人による脱税を助ける第三者の行為です。

社外者による疑わしい取引や違法行為には十分に注意して、ディアジオを犯罪から守り、社外者によるマネーロンダリングや脱税の促進の踏み台とされないようにしましょう。

正しい行動を

行うべきこと:

- マネーロンダリング防止および脱税促進防止グローバル方針 (Anti-Money Laundering and Anti-Facilitation of Tax Evasion Global Policy) および「事業提携者を知る」(KYBP) 基準に記載の「顧客を知る」(KYC) および「事業提携者を知る」(KYBP) プロセスに従う
- 顧客またはベンダーの情報や状況、プロファイルの変更に注意し、所轄の財務部に通知する
- 必要な制裁チェックを実施した顧客に限定して事業取引を行う（詳しくはp23の制裁を参照してください）
- 顧客またはベンダーがマネーロンダリングまたは脱税に関与している可能性を示唆する危険信号を、すみやかにディアジオ社内法務部に報告する

マネーロンダリングまたは脱税に関与している可能性を示唆する危険信号

次のような事業提携者の行動は、疑わしい取引の可能性があるため、全社員が十分に注意する必要があります。

- 個人の身元情報や事業のバックグラウンド情報の提供に不自然なまでに非協力的である
- 現金での支払いを希望する
- 請求書の金額を超える金額や異なる通貨での支払いを希望する
- 設立地が主たる事業活動の場所または税務上の所在地と異なる
- オフショア口座または事業がおこなわれている国とは異なる国の銀行口座を用いた資金の授受を希望する
- 複数の口座や第三者機関を通じた資金の授受を希望する

ある顧客から、現金と小切手を組み合わせて複数の口座から支払ってもよいかと聞かれました。承諾しても良いでしょうか。

十分に注意が必要なケースです。疑わしい方法であり、マネーロンダリングである可能性もあります。ディアジオでは第三者機関の小切手の受け取りを認めていません。顧客への回答の前に、ディアジオ社内法務部のアドバイスを受けてください。

取引のある流通業者がマネーロンダリングで有罪判決を受けたとの連絡を受けました。どうしたら良いでしょうか。

直ちにディアジオ社内法務部に連絡し、その流通業者からの受注を中止してください。ディアジオでは、マネーロンダリングで有罪判決を受けた個人や組織には販売しません。

ある流通業者から、A&P投資のための支払いを、契約の流通対象地域外にある銀行口座にて受けることができるか尋ねられました。これを認めてもよいでしょうか。

いいえ。これは疑わしい問い合わせであるため、直ちに所轄のディアジオ社内法務部に報告して、同部がこの顧客と商取引関係を継続すべきかどうかや、継続すべき場合にはどのような方法で継続すべきかについて助言するのに必要なあらゆる関連情報を提供しなければなりません。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p43を参照してください。

制裁

当社は、国際制裁や他の貿易規制を順守しています

ディアジオの制裁に関するグローバルポリシー (Sanctions Global Policy) により詳しく定められているとおり、当社は、その事業を実施する過程で、適用される国際制裁や他の貿易規制に関するあらゆる法規制の改正等も考慮しながらこれらの法規制に従う必要があります。

制裁や貿易規制には、国際連合、欧州連合および米国財務省外国資産管理局 (OFAC) を含む国際的に認められた機関が設けているものがあります。制裁は、特定の国および/またはその国民との取引を禁止または制限するために課されるもので、その目的は、さまざまな外交政策や国家安全保障に関する目的の達成を推進することにあります。制裁には、金融制裁、資産凍結、渡航禁止および禁輸措置を含むさまざまな形態があります。

当社は、個人、法人、政府または国家との取引によって既存の制裁プログラムを尊重できなくなる場合、直接的であれ、間接的であれ、取引してはいけません。このため当社は、取引する顧客、ベンダーおよびその他事業提携者の身元を知る必要があります。

正しい行動を

行うべきこと:

- 事業提携者の真の身元が確認でき、適宜実施すべきKYC/KYBPプログラムによる精査を経て、当該提携者が制裁対象でないと確認できるまでは、当該提携者と関係を結ばない
- 制裁を精査する過程で浮上した暗示的なサインのようなものや懸念事項は、直ちにディアジオ社内法務部および/または制裁コンプライアンス担当者 (SCO) に照会する
- 制裁対象国で事業活動をしている、またはその予定がある場合は、その旨をディアジオ社内法務部および/またはSCOに伝える

新規事業取引先を獲得できそうなのですが、その会社は近隣の経済制裁対象国で当社の事業とは無関係な事業利益を得ているようです。どうしたら良いでしょうか。

KYC/KYBPプロセスによる精査を経てこの取引先が制裁の対象かどうかを確認し、その後の進め方について助言するのに役立つ情報をディアジオ社内法務部および/またはSCOに対し直ちに伝えてください。

顧客の1社が制裁リストに表示されている場合、どうしたら良いでしょうか。

制裁精査ツールによるチェックで既存の顧客の1社が制裁リストに含まれていることが明らかとなった場合には、その顧客との取引を直ちに中止し、ディアジオ社内弁護士および/またはSCOに知らせる必要があります。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p43を参照してください。



A man with short brown hair and glasses, wearing a blue button-down shirt, is smiling and looking towards the left. He is holding a red and yellow cup in his right hand and a bottle of whisky in his left hand. The background is a blurred bar or office setting with shelves of bottles and warm lighting.

当社の社員

お互いの価値を認め、
尊重し合う

健康、安全、
個人のセキュリティ
差別とハラスメント
人権

健康、安全、個人のセキュリティ

私たち全員が労働環境の安全を確保する責任を担っています

私たちがお互いの価値を認めている証のひとつが、自分自身と周囲の人々の安全の確保です。社員一人ひとりがそれぞれに、ディアジオの各事業所で働く社員や、当社の事業活動に影響を受ける人々の健康、安全、個人のセキュリティを確保する役割を担っています。

私たちのすべての活動が、労働環境の健康、安全、セキュリティに関して適用される法令、基準、ベストプラクティスにすべて準拠した職場を安全な環境と呼びます。

正しい行動を

行うべきこと:

- 自分の職場および職種に適用される安全とセキュリティに関する方針や基準を知り、それに従う
- 安全でない行動や条件、やり方にはその都度異議を唱えて、負傷や病気を防ぐ
- 事故や事故につながりかねない出来事、ニアミス、ポリシーや基準への違反や法令違反、その他の健康、安全、セキュリティに対するリスクが発生した場合にはすみやかに報告する
- 必要な健康、安全、セキュリティに関する研修を受ける
- ディアジオイベント計画およびリスク管理指針の順守を徹底する

Q 自分のチームが参加する社外イベントの計画を担当しています。開催にあたり、安全とセキュリティのチェックを行うように指示されました。ほんとうに必要ですか。

A もちろん必要です。当社全社員には、事業が当社敷地外で行われる場合でも、全社員に対し労働条件の安全性とセキュリティを確保する責任があります。そのためには、リスクアセスメントの実施が有効です。イベント開催施設が当社の基準に準拠していることを確認し、確認されたリスクの軽減措置を行うことは、社員の安全や当社の世評の保護につながります。

Q 数週間後に海外市場への出張を予定しています。その国は安全性が低く、予防接種が必要かもしれないため心配しています。どうしたら良いのでしょうか。

A 出張前に、所轄の労働安全衛生部およびコーポレートセキュリティ担当者に相談してください。出張に必要な予防接種や医薬品、国の安全情報や研修などを確認できます。かなりリスクの高い地域への出張の際には多くの場合、チケットの手配の前に、TAPS(旅行と個人の安全)研修を修了し、健康診断をうけて問題がないことを確認する必要があります。

Q ディアジオブランドは、大規模コンサートやスポーツイベントから単一店舗でのイベントに至るさまざまなイベントで継続的に宣伝されています。イベントを安全かつ安心できるものにするのに役立つイベントに関するガイダンスはどこで入手できますか。

A ガイダンスは、ディアジオイベント計画およびリスク管理指針(Diageo Event Planning and Risk Management Guidelines)で確認できます。また、イベントセキュリティ質問用紙(Event Security Questionnaire)に必要事項を入力することでも確認できます。より詳しい助言が必要な場合には、corporate.security@diageo.comまでご相談ください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p43を参照してください。

差別とハラスメント

多様性を尊重してお互いの価値を認め、差別やハラスメントを容認しません

私たちは皆、社員や業者、事業提携者、地域社会のメンバーがそれぞれの価値を認められ、尊重されるとともに、成功する自由が確保された環境を作り上げる責任を担っています。ディアジオでは、チームワークを促進する社風の一環として、文化や個人の多様性を尊重し、国際連合女性のエンパワメント原則に加盟調印しています。当社は、人種、宗教、肌の色、民族、出身国、障害、性的指向、性別、性別自己認識、性別表現、婚姻関係などに基づく差別やハラスメントを容認しません。各社員には、各自が責任をもって、倫理にかなった行動を通して、最高水準を体現していくことが期待されています。

正しい行動を

行うべきこと:

- すべての人々に尊厳と敬意をもって接する
- 文化のおよび個人的な多様性を尊重する
- オープンでチームワークのできる信頼感に支えられた雰囲気大切に
- 差別的、攻撃的もしくは脅迫的な行動、ハラスメントまたはいじめを容認したり、これらを行ったりしない

いじめとみなされる行動とは...

いじめの例には次のようなものがあります。

- 他人に対し大声で怒鳴る、または他人を嘲笑うもしくは侮辱する
- 身体的または心理的に脅す
- 過剰な監督や、不適切なおよび/または軽蔑的な発言
- 立場が上の者による権限や権力の乱用
- 仲間をミーティング/コミュニケーションから不当に除外する行為

容認されない行動

次のような行動は容認されない行動となります。

- 他人に対するハラスメント、セクシャルハラスメント、いじめ
- ハラスメントやいじめの苦情を提起した人に対する虐待、脅迫または報復
- 害意または悪意を持っていじめ、ハラスメントまたはセクシャルハラスメントを申し立てること
- 何らかの調査中に、虚偽のまたは誤解を与えることを意図した情報を提供すること

Q 私の上司は職務の成果に対する要求が高く、部下に結果を出すことを求めています。とても威圧的時には個人攻撃をする場合もあります。チームを助けたい気持ちはありますが、誰かに言うことで事態が悪化したり、私自身の職も危なくなるのではないかと心配です。どうしたら良いのでしょうか。

A 当社では、チームワークのできるオープンで相互の信頼感に支えられた職場環境を提供することを目指しています。状況や各人の立場に関わらず、いじめや威圧的な態度を許容しません。当社では、一人ひとりが違うこと、そして個人の許容レベルも違うことを認識しており、つまりあなたの個性は尊重されます。上司に相談することができない場合は、所轄の人事担当者または上司の上司に問題を相談してください。ディアジオでは、このような状況で問題提起することに対する報復行為を容認しません。

Q 私のP4G中に、ラインマネージャーが、私の成果について非常に否定的なフィードバックを行い、私の欠点を繰り返し強調しました。マネージャーのやり方があまりにも攻撃的であったため、私は、脅迫され不当な扱いを受けていると感じました。

A 職場におけるいじめには一般的に、口頭による、または身体的/心理的な、もしくはその他の方法のいずれかを直接的または間接的に、一人または複数の人が別の一人または複数の人に対して繰り返す不適切な行為が含まれます(ただしこれに限りません)。説明にある行動・態度は単発的であり、職場での失礼な扱いに感じられるかもしれませんが、いじめには当てはまらないかもしれません。

社員のパフォーマンスや行動に対する正当かつ建設的な批判や社員からの合理的な依頼は、職場でのいじめに含まれません。このような批判や要求は、通常の雇用とマネジメントの一環として行われるものであり、それらと異なる行為としてとらえられるべきものではありません。しかし本例のように、パフォーマンスのフィードバックを受けたことで不快感や怒りを感じた場合は、通常のチャネルを通じて事態を報告することをお勧めします。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p44を参照してください。

人権

私たちは、人権や社会に対する貢献を目指しています

当社のあらゆる活動において、人権に関する国際水準を尊重し、促進していく責任を認識しています。ディアジオでは、国際連合のビジネスと人権に関する指導原則に沿った行動を約束しています。当社の方針は、いずれも当社が調印している、労働における基本的原則および権利に関する国際労働機関（ILO）宣言、子どもの権利とビジネス原則、企業のためのLGBTIに関する国連行動基準、国連の女性のエンパワーメント原則、国連グローバル・コンパクトに基づいています。

正しい行動を

行うべきこと:

- すべての人々に尊厳と敬意をもって接する
- 文化的小および個人的な多様性を尊重する
- 差別的、攻撃的もしくは脅迫的な行動、ハラスメントまたはいじめを容認しない
- 賃金や労働時間に関する法令に準拠していない場合や児童労働を許容している場合、または労働組合への参加選択の自由を認めていない場合など、誰かの人権を侵害する行為がみられたり、疑われたりする者と、それを承知のうえで事業を行わない
- 取引する事業提携者、取引業者、その他の第三者機関に対して、人権尊重に関して当社と同様の水準を適用し、当社の取引業者との提携に関するグローバル基準にある原則に従って行動するように求める

Q 取引先の1社が公正な賃金を支払っていない可能性があります。業者に情報を確認は来年までありませんが、問題を無視してはいけないと思います。どうしたら良いでしょうか。

A ディアジオでは、取引業者および事業提携者にそれぞれの業界における公正な賃金の支払いを求めています。上司および購買チームに懸念事項について相談のうえ、適切な措置について合意を得てください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p44を参照してください。](#)

私たちの資産と情報

所有者としての行動

情報管理とセキュリティ

データプライバシーと個人情報

企業の所有物とリソース

事業記録

情報管理とセキュリティ

私たち全社員がディアジオの情報を保護・管理する責任を負っています

ディアジオの情報は大切な資産であり、社員それぞれが情報の管理・保護に協力する必要があります。機密または極秘情報が社外に漏れた場合、市場競争においてマイナスになるばかりか、当社の財務成績に影響を与えたり、世評を傷つけることにもつながります。また、社外の事業提携者の機密情報を預かる場合にも、適切に管理・保護しなければいけません。

正しい行動を

行うべきこと:

- 安全性の高いパスワードを使い、パスワードやユーザー識別情報を秘密にしておく
- パブリックドメインにないすべてのディアジオの情報は、社内の情報処理基準 (Information Handling Standard) が定める通りに「一般」「機密」「極秘」の機密種別に従って分類する
- 職務に必要でない人と機密または極秘情報について話したり、そのような人に機密または極秘情報へのアクセスを与えたりせず、どの機密または極秘情報についても適切なアクセス制御を確実に実施する
- 情報が機密または他の分類に相当するかどうかに関わらず、適切な情報所在指針 (Information Location Guidelines) に従ってすべての情報を識別可能かつアクセス可能な状態にしっかりと整理し、破棄する場合は、職務もしくは市場情報資産インベントリに従い安全に破棄する
- 公共の場（カフェ、空港、鉄道駅など）では、不注意により情報が漏れるリスクがある場合、機密の可能性のある業務をおこなわず、ネットワーク所有者にネットワーク名とパスワードを尋ね、正当なWi-Fiアクセスポイントにアクセスできるようにする
- 社員の入社、異動、退職などがある場合には、情報アクセス要件が適切に供与、変更、削除されるよう特に注意する

Q 情報への不正アクセスがおこなわれていると思います。どうしたら良いでしょうか。

A 情報セキュリティに関する事故はすべてすみやかに csi@diageo.com に報告してください。コンピューターセキュリティインシデント対応チームが、インシデントについて調査しこれを抑制するための対応プロセスを実施し、リスクを最も効果的に管理するための追加措置を講じます。当社は、速やかに (72時間以内に) 通知すべきとする規制要件に従わなければならない場合があるため、個人情報が危険にさらされる可能性がある場合には直ちに報告してください。

Q 来週から数週間移動が多くなる予定ですが、あまりノートパソコンを持って移動したくはありません。インターネット経由で個人の電子メールにアクセスできることはわかっているので、社用の受信ボックスに自動転送を設定して、自分宛てのメールを個人アドレスに転送しても良いでしょうか。

A ディアジオの電子メールを個人アドレスに自動転送することはできません。当社の情報のセキュリティを危険にさらす行為となります。メールには通常であればディアジオのデジタルセキュリティシステムで保護されている機密情報が含まれる場合があり、これが個人用メールアカウントでは保護されないからです。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細は [p44を参照してください。](#)

極秘情報とは...

許可なく開示されるとディアジオやその子会社に実質的損害や重大な不利益が及ぶこととなる場合、または法規制が開示を禁じている場合、その情報資産は極秘情報に該当します。

機密情報と極秘情報を区別する方法の一つは、その情報が開示された場合におけるディアジオへの影響度を考慮することです。極秘情報の開示は、ディアジオの評判や株価に影響を与えるといった可能性をもたらしますが、機密情報の開示は、そのような影響をもたらすとは限りません。

極秘情報の例

- 当社のレシピや蒸留プロセスといった企業秘密
- 個人を識別できる機微情報

機密情報とは...

許可なく開示されると(たとえディアジオ内部での開示であっても)、ディアジオやその子会社に損害や不利益が及ぶ可能性がある場合、その情報資産は機密情報に該当します。

機密情報の例:

- 非公開財務情報
- 事業計画や予測、戦略など
- マーケティング、イノベーション、プロモーション活動の計画
- 価格リストや顧客リスト
- 当社の社員、顧客、業者、消費者などの機微でない個人情報 (p32データプライバシーと個人情報を参照してください)
- 給与データ

情報資産インベントリとリーガルホールド

ある種の情報に関しては、一定期間保持し安全に保管することが求められています。保管期間は情報資産インベントリに記載されています。各チームに、チームの情報インベントリへのアクセス方法を把握している「情報保持担当者」が1名いるようにしてください。

時により、捜査、監査、訴訟関連の要請により情報資産インベントリに指定されている通常の情報保持期間を延長して情報を保存する必要がある場合があります。これは、一般に「リーガルホールド」と呼ばれるものであり、その場合には、ディアジオ社内法務部の指示に従って行動してください。



データプライバシーと個人情報

私たちは、個人情報を尊重し、責任をもって取り扱います

職務上、同僚や顧客、業者や消費者、その他の個人に関する個人情報を保持していたり、アクセスできたりする社員がいます。当社が事業活動をおこなう地域に適用されるデータプライバシー法令の要件に準拠して、情報を尊重・保護することが必要です。当社が保持したり、当社のために外部機関が収集、保持、処理したり、また当社がアクセスできる個人情報はすべて、ディアジオの正当な事業目的にしか利用できません。

個人の健康、人種、民族、政治的意見、モラル・信仰、性生活、犯罪活動などに関わる個人の機密情報は、特に慎重に扱ってください。

正しい行動を

行うべきこと:

- 個人情報を取り扱う適切な法的根拠または法的理由が当社にあるか確認するとともに、個人情報を提供する個人が情報の取扱い目的や情報にアクセスできる者、また情報の保持期間について適切に認識しているか確認する
- プライバシーリスクについてディアジオ社内法務部に相談し、個人情報の利用を伴う新たな活動(特に社員の個人情報もしくは機微な個人情報を処理する場合、個人を監視もしくはプロファイリングする場合、または新しいデータセットを合体させる場合などのリスクの高い処理業務)を開始する前にプライバシーへの影響評価を行う必要性を考慮する
- 個人の機密情報や法規制による要求、個人からの正式な要請による個人情報へのアクセスなどを取り扱う際には、ディアジオ社内法務部に連絡する
- 調達部またはディアジオ社内法務部を通じ、ディアジオに代わって個人情報を保持、収集または処理する第三者との契約締結を確実に行う
- 社員、顧客または消費者の個人情報に関連する潜在的なまたは実際の情報漏洩事件については速やかに、ディアジオグローバルデータプライバシー責任者(DPO@diageo.com)をCCに含めてcsi@diageo.com宛でメールで報告し、同時にディアジオの危機管理手順(Diageo's Crisis Management Procedures)が適切に守られていることを確認する。

Q 行動インサイト情報を得るために、最新の「ビッグデータ」インターネット分析をおこなう代理店と契約したいと思っています。データプライバシーに関するリスクアセスメントを実施する方法を教えてください。

A 新規の高リスクな処理またはプロジェクトを計画する際には、ディアジオ社内法務部に法的助言を求め、プライバシーに関する影響評価を実施し、結果を同部に提出して検討してもらってください。当社から代理店に個人情報の処理を依頼する際も同様です。

Q 共有ドライブにある保護されていないエクセルシートに、私がアクセスすべきでない社員の個人情報が入っているのを見つけました。パスワードとアクセス制限によりこの情報を保護する必要があることはわかっていますが、その方法がわかりません。

A 確かにそういった情報は慎重に保護する必要があります。この種の個人情報に関する問題は、csi@diageo.comに直ちに報告して、問題の調査や、適切な技術的および組織的セキュリティ管理の実施を可能にする必要があります。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p44を参照してください。

個人情報の取り扱いと使用

個人情報の取り扱い注意事項:

- 公正かつ合法的に取得し、第三者との共有を含め、適切な法的根拠(ディアジオ社内法務部に確認のこと)に基づき管理する
- 明記された限定的な目的のためにのみ所持し、目的に必要な項目を最小限にとどめる
- 最低限必要な情報だけを、正確性、目的への関連性に留意ながら保持し、過剰な収集は避け、必要な期間を越えて保持しない
- 職務の遂行上必要な人だけがアクセスできる安全な方法で取り扱う
- 個人の法律上の権利を尊重して取り扱い、他国への転送の際には、当社のデータプライバシー・グローバル方針に準拠する

企業の所有物とリソース

私たち全員が企業の所有物とリソースを保護する責任を担っています

各社員がそれぞれに、ディアジオの知的財産(IP)から会社の備品(モバイルデバイス、コンピュータ、プリンター、コピー機、社用車など)、会社の資金、設備、情報など幅広い範囲にわたるディアジオの所有物やリソースを預かっており、一部に関しては個人用デバイスに保管されている場合もあります。場合によっては、社外の団体や個人、事業提携者に属するリソースを預かっている場合もあります。

正しい行動を

行うべきこと:

- ディアジオの所有物やリソースは、常識的に適切な範囲で合法的に利用し、正式な承認を得ることなく使用、取得、売却、貸与、借用、譲渡しない
- ディアジオの資金を使用したり、会社を代表して財政的な決断を行う場合には、必ず責任をもってディアジオの最善の利益のために行動する
- 所轄の出張旅費および経費に関する方針に従い、出張旅費および経費の立替精算書を提出したり、社員の精算書を承認したりする際には、誠実かつ慎重に行う
- 社外の団体や事業提携者の所有物やリソースを大切に扱い、所有者の許可を得ることなく、社外の個人または団体が著作権をもつマテリアルの使用、ダウンロード、コピー、配布、ウェブサイトへの投稿などを行わない
- 製品開発、技術開発、広告または販促キャンペーン等に関わる場合には、ディアジオ社内IP法務担当者に相談し、当社の知的財産権が適切に保護されるようにする
- 社員の業務(電子メールなど、さまざまな方法での連絡や、業務上で得た連絡先など)はディアジオに帰属し、法律上許される範囲において、本人の退職後でも、会社がアクセスし、使用する場合があることを理解する

Q ディアジオのメールアドレスから、仕事の後に飲みに行くことについて友だちに連絡しても良いでしょうか。

A 特に頻繁でなければ、個人的な用件についてディアジオのメールで連絡しても構いません。ただし、メールタイトルに「個人」と明記しておくなど識別できるようにしておいてください。そういった識別がない限り、当社の方針もしくは法令の定めに従い、合法的な事業目的のためにディアジオがアクセスし、利用する場合があります。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p44を参照してください。

知的財産とは...

- 当社のブランドを保護する商標
- 当社独自の技術や生産法などといった当社の発明を保護する特許
- 当社のコミュニケーションや広告・マーケティングマテリアル、当社独自のボトルやパッケージを保護する著作権やデザイン
- 当社のレシピや蒸留プロセスといった企業秘密

事業記録

ディアジオではすべての事業領域を包含する全体性のあるパフォーマンスにコミットしています。当社では、事業記録を漏れなく正確に作成し、適切な承認を受けるようにしています

社員一人ひとりに、ディアジオのために作成する記録はすべて客観的に正確な事実であることを確認する責任があります。

財務情報や財務以外の情報は、正確に記録・報告し、当社の定める法規制の要件を満たすことが求められています。虚偽の記録は、場合によっては、詐欺行為とされ、社員本人およびディアジオが民事・刑事罰の対象となることがあります。また、正確な記録は、情報に基づいた事業上の判断を下すことができるほか、株主や監督機関、その他関係者に対する当社の責任を果たすために不可欠です。ディアジオは、真正で説得力があり、商業的に正当な理由がない限り、ある期間の売上が別の期間の記録に付け替えられるような行為を許容または容認しません。

正しい行動を

行うべきこと:

- ・法規制の要件および社内基準に準拠し、すべての事業記録を正確に記録する
- ・ある決算期中の売上や経費を故意に別の決算期に移行させたとみなされるような行為を正当な理由なく行ったり、支援したりしない。たとえば、特定の顧客に対する支払いの条件を変更もしくは延長する行為、購入商品の返品ポリシーを変更する行為、顧客に特別なもしくは変則的な信用取引条件を許可する行為、または翌期の納品までの倉庫保管を「無料」または「支援」する行為が挙げられる
- ・ディアジオを代表して締結する契約はすべて適切な者からの承認を得る（詳しくは、グループ全社の権限についてのステートメント（グループ全社のSoA）または現地マーケットの権限についてのステートメントを参照してください）
- ・当社の継続的な開示プロセスの一環として、期末に異常な水準の在庫品を上級経営陣に報告する
- ・現地マーケットもしくは所属のビジネスユニットの情報資産インベントリ（p31を参照してください）に記載の保持期間に従って事業記録を保存する
- ・期末の慣行またはプログラムに関する不明点は、財務部および法務部の同僚に相談する

事業記録とは...

事業記録には、業務の過程において作成、受領したあらゆる書類およびコミュニケーションを含みます。つまり、財務情報および会計帳簿のほか、プレゼンテーションや事業計画、法律文書、あらゆる調査やテストの結果、人事関連書類、出張旅費や経費精算に関わる書類などが全て含まれます。

Q 決算時期が近づいてきましたが、上司から期をまたがずに今期中に当社製品を大量に購入してもらうために一部の顧客にインセンティブを与えてほしいと頼まれました。これまでの販売の実績からみると、その顧客では、大量購入した商品を今年中に消費者に販売することができないと思います。大丈夫でしょうか。

A これは「トレードローディング（取次上乗せ）」と呼ばれ、ある決算期から前後の決算期に売上を故意に移すことを指します。こういった行為は認められません。需要増加やラベルやパッケージ変更に備えたり、大規模なプロモーション活動や値上げ発表の前に購入量を増やす場合など、正当な理由により、当社と顧客の双方が普段の取引量を超えて在庫を増やすことが適切であると考えられることもあります。そういった場合でも、常に明確かつ偽りのない商業上の理由によって行わなければならない。不安がある場合は、ディアジオ社内法務部や財務部に相談してください。

Q 新規納入業者と5年契約を結ぶ必要があるのですが、必要な承認を教えてください。

A 契約期間が5年なので、重要調達契約としての取扱いが必要です。承認プロセスの要件を具体的に掲載しているグループ全社の権限についてのステートメント（グループ全社のSoA）を参照してください。また、多くのマーケットではそれぞれ現地の権限についてのステートメントを用意しています。所轄の財務担当者に相談し、現地の要件を満たしていることを確認してください。さらに、これは新しい業者との取引であるため、当社の「事業提携者を知る」（KYBP）基準の要件が満たされるかについても確認する必要があります。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
p44を参照してください。

当社のリーダーシップとパートナーシップ

私たちが築き上げてきた関係を誇りに

品質

環境

慈善活動社

外コミュニケーションと
ソーシャルメデ

ィア顧客や業者、その他
の取引先との関係

品質

当社ブランドの品質は、今もこれからも当社のセールスの中心となり続けます。

私たちは、世界最高水準を誇る高級飲料ブランドを支える社員であり、可能な限り最高品質の商品を消費者に届けることに情熱をもっています。当社製品の原材料からパッケージ、カスタマーサービスから製品デザインまで、また当社のサプライチェーン全体にわたる、当社の事業のすみずみにおいて最高水準の品質を実現することにより、当社の評判を維持・成長させていくことは、社員一人ひとりの責任です。

正しい行動を

行うべきこと:

- 当社ブランドおよび関連する商品が、消費者にとって安全であることを確認するとともに、適用されるあらゆる法規制に準拠し、パッケージや機能に欠陥がなく、一貫して優れた味の商品を提供する
- パッケージデザインおよびその他の製品を変更する際には、必ず当社の品質水準に従って適切に行われるようにする
- ベンダーや外部生産者を含む事業提携者が当社の品質グローバル方針に従って事業活動を行うよう確認する
- 所属のビジネスユニットまたは現地の品質管理システムに従う

Q 最近、家族がSmirnoff Redのボトルを購入したのですが、フタが開かないと言われました。どうしたら良いでしょうか。

A 当社製品の品質や安全に関する懸念には、それがたとえ製品のリコールという事態を招くとしても、速やかに対応する義務があります。ただちに現地のサプライチェーンに問題を報告してください。

Q 生産ラインに従事している社員ですが、通常の社内許容レベルを超える欠陥のある商品に気づきました。上司には報告しましたが、些細な欠陥なので気にしなくてもよいと言われました。それで良いのでしょうか。

A 対処の必要があります。当社では、あらゆる業務において最高水準を実現するよう努めています。顧客の皆さまに最高の商品をお楽しみいただきたいと考えており、小さな品質低下であっても楽しみが損われる可能性があり、当社の世評を傷つけることにもつながりかねません。再度ラインマネージャーに連絡してその決定に異を唱え、必要であればマネージャーの上司に上申してください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p44を参照してください。](#)

環境

社員一人ひとりが、環境に配慮して事業活動を行う義務を担っています

当社の事業運営やサプライチェーンが環境に与える影響を管理していくことは、当社および当社のステークホルダーやディアジオの長期的な成功にとって重要なことです。当社では、サプライチェーン全体を通じて環境に与える影響を大幅に削減し、重要な事業上の判断を下すたびに、その決定が環境に与える影響を考慮することにより、自社ブランドおよび事業の持続可能性の向上に努めています。当社の事業の範囲内においては、再生可能エネルギーの使用量を増やし、水の使用量や管理を改善するとともに、廃棄物の削減、パッケージデザインの最適化を目指しています。また、サプライチェーン全体を通じた環境に与える影響の低減を目指し、事業提携者や取引業者、請負業者と協力しています。

正しい行動を

行うべきこと:

- 水やエネルギーなど各種資源の無駄使い、非効率なリサイクル活動（パッケージ、プロセス副産物、最終処理に必要な設備など）など、持続可能でない行為を目にした時には、異議を唱える
- 事業上の決定において、同僚が、環境に与える影響を考慮しなかった場合（たとえば、ブランド変更でリサイクル可能でない素材を導入した場合など）には異議を唱える
- グリーントラベルや省エネなど、地域の環境維持への取り組みをサポートする
- 環境リスクや環境ハザード、何かが間違っていると感じられるような状況はすみやかに報告する
- 取引先での環境への影響低減のために取引業者と協力できる方法を模索する

Q マーケティングに従事している社員です。ブランドパックの変更の際して、環境への配慮を確実にしたいと思っています。その確認方法を教えてください。

A ブランド変更の過程において考慮すべき環境問題については、ディアジオの持続可能なパッケージに関する指針を参照してください。パッケージの重さの減量や、100%リサイクル可能なパッケージ、一次包装に含まれるリサイクル材使用率の増加などが含まれます。この指針の義務を果たしていれば、正しい行動であるといえます。

Q 最近ある現場に行きましたが、リサイクル用回収箱がなく、リサイクルを促進する通知も見当たりませんでした。どうすれば良いのでしょうか。

A 施設責任者が現場責任者にその懸念を伝えてください。全事業所および生産現場にリサイクル用回収箱を設置し、全社員にできるだけリサイクルを行うよう奨励する必要があります。所属場所でのいっそう積極的な役割を担うことを希望する場合は、所轄のGREENIQチームに問い合わせ、2020年までに埋め立てゴミゼロを目指す当社のグローバル目標達成への貢献について相談してください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p44を参照してください。](#)

慈善活動

私たちは、地域社会で活発に貢献したいと考えています

当社の事業活動は、世界中の数多くの人々の生活に直接の影響を与えています。当社の存在が、事業活動を行う国や地域社会にとって貢献するものでありたいと願っています。ディアジオが企業として慈善寄付を行うことは、国や地域社会への貢献の方法のひとつです。

当社が慈善活動を行う際には、高い倫理観をもって行動し、あらゆる慈善活動に透明性を確保するとともに、適用法に準拠して行うことに加え、ディアジオの事業に対して不正に便宜を図る試みに屈することのないようにする必要があります。当社では、純粋な慈善活動にのみ協力し、当社の慈善寄付が慈善目的にのみ用いられるよう確認しなければなりません。

ディアジオとして寄付をおこなう際には、その金額に関わらず、下記の通り、事前に必要な承認を受ける必要があります。これは、純粋な寄付が賄賂を含む別のもものと誤解されるリスクを回避するためです。政府関係者(定義はp17を参照してください)または政府関係者の代理人が、慈善寄付を募ったり、提案したり、要請したりした場合や、何らかの形でディアジオが協力している慈善活動に関与している場合には、必ず所轄のコーポレートリレーションズ部およびディアジオ社内法務部に通知してください。

正しい行動を

行うべきこと:

- ディアジオとして何らかの慈善寄付をおこなう場合には、事前に所轄のコーポレートリレーションズ部の承認を得る
- 政府関係者が関わる慈善活動に寄付する場合には、事前にディアジオ社内法務部の承認を得る
- 慈善寄付をおこなった場合には、現地マーケットの慈善寄付条件に従って関連するディアジオ会計システムに記録する

Q 慈善寄付金を募るイベントで、1テーブルの後援と製品の提供を依頼されています。協力は可能ですか。

A 協力はできますが、当社として慈善活動を支援する際には、必ず支援する団体が適切であることを確認する必要があります。返答をする前に、所属の現地マーケットの慈善活動条件に従い、所轄のコーポレートリレーションズ部の承認を得て、テーブルの後援の支払いおよび製品の寄付を記録してください。

Q 地元の学校で、子供たちの読解力向上を支援するプログラムに個人的に参加しています。プログラムでは今、新しいボランティアを募集しているので、同僚に参加をお願いしようかと思っていますが、頼んでも大丈夫でしょうか。

A もちろん同僚に参加を呼びかけても構いませんが、ディアジオのプログラムではないため、就業時間中におこなうことはできません。当社では、社員が自分自身や地域社会にとって大切だと考える問題を追求していくことを奨励しています。しかし、私たちの行動が、法定飲酒年齢未満の未成年者に対する製品のマーケティングと誤解されないよう、特に慎重に行動してください。具体的なアドバイスが必要な場合には、所轄のコーポレートリレーションズ部に相談してください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p44を参照してください。](#)

ディアジオが支援する
団体とは...

個人的な慈善活動

当社では、慈善目的や社会貢献目的、公共への利益を目的として運営する慈善団体や民間非営利団体(NGO)、その他非営利団体、地域自治団体などの支援を考慮しています。所轄のコーポレートリレーションズ部に相談してください。

当社のリーダーシップと
パートナーシップ

ディアジオの慈善活動への支援にはさまざまな形があります。資金の寄付や当社製品の提供、衣類の提供などといった現物での寄付、限られた時間内でのボランティアなどが含まれます。

社員同士の間で、マラソンへの出場や手作りケーキのバザーや使用済みおもちゃの収集など、さまざまな形で個人的な慈善活動の支援を依頼されることがあります。公式にディアジオがその取り組みへの支援をおこなっていない場合には、企業としての協力とはみなされず、このセクションに記載の手順の対象とはなりません。しかし、個人的な寄付や慈善活動が、事業としての寄付と誤解されるおそれがある場合には、所轄のコーポレートリレーションズ部に相談してください。

社外コミュニケーションとソーシャルメディア

社員一人ひとりが、責任をもってコミュニケーションをとる必要があります

私たちの行為や言動、当社のステークホルダーが当社について話すことのすべてがディアジオの評判に影響を与える可能性があります。情報が瞬時に伝わる、相互につながりあう世界においては、投資家やメディア、地域社会や政府の代表者、商業上の提携者、顧客、消費者といったあらゆる社外のステークホルダーとのコミュニケーションを慎重に管理していくことが不可欠です。

当社のメディアや政府、NGO、地域社会との日々のかかわり合いについては、グローバルおよび現地マーケットのコーポレートリレーションズ部が管理しています。また、社員が社を代表してスピーチをおこなう場合や、社を代表してまたはディアジオのブランドに関するメディア（業界誌を含みます）のインタビューに応じる場合にも同部署の許可が必要です。投資家とのコミュニケーションは、グローバルインベスターリレーションズ部が管理しています。すべての問い合わせは常に関連部署に回す必要があります。

ソーシャルメディア

職務を離れて、会社や自社ブランド、アルコール業界、その他ディアジオに関連する事柄に関してソーシャルメディアにコメントをする（ソーシャルメディアにブログを書いたり、ツイッターや投稿をするなど）場合には、必ずそれが個人的な意見であり、ディアジオの考えではないことを明確にしてください。そういったコメントを投稿する前には、良識に従って慎重に判断し、次のように自分に問いかけてみてください。「自分の言ったことがディアジオや自社ブランド、ステークホルダーにマイナスの影響を与える可能性があるだろうか？」もし答えが「そう思う」とか「そうかもしれない」ならば、その行為を一旦中断してください。詳細なヘルプとアドバイスについては、[ディアジオの社員ソーシャルメディア指針](#)を参照してください。

Q ある重大な世界の出来事について怒りが収まらず、個人的にツイートしたいのですが、その観点については同僚も含め、意見の分かれるところだと考える人もいます。どうしたら良いでしょうか。

A まず、立ち止まって考えてください。ディアジオの社員として、たとえそれが個人的な意見であつたとしても、自分の投稿が会社の世評にマイナスの影響を与える可能性があるかどうかを考慮してください。どちらにしても、その場の感情で書いたものをツイートするのは最善の行動ではないことが多いと思います。

Q 先ほど、業界会議での講演の依頼を受け取りました。ディアジオにとって素晴らしいマーケティングの機会になると思うので、引き受けたいと思います。まず誰かに確認する必要がありますでしょうか。

A 引き受ける前に、上司とコーポレートリレーションズ部にその依頼について話し合ってください。ディアジオを代表する場合や、ディアジオのスポークスパーソンとして行動する場合には、必ず適切な許可を得るように気をつけてください。

必ず読んでもらいたい項目
についての詳細は
[p44を参照してください。](#)

正しい行動を

行うべきこと:

- ディアジオの代表者としてメディアに関わる際には、必ず事前にコーポレートリレーションズ部の許可を得るものとし、ブランドPRの場合には、該当するブランドチーム内の関連するコミュニケーション責任者の許可を得る
- 投資家または財務アナリストからの問い合わせは、すべてインベスターリレーションズ部に照会する
- ディアジオの代表者としてイベントでの講演や参加の依頼を受けた際は、返答の前にコーポレートリレーションズ部からの承認を得る明示的な承認を得ていない限り、社外の者や団体、商品やサービスを推薦しているように見えないように注意する
- メディアでの発表やプレスリリースはすべて、事前にコーポレートリレーションズ部の承認を得るほか、適切な通知手順に従う
- ソーシャルメディアでは透明性と正確性に留意する（個人的なコミュニケーションでも自らのディアジオとの関係を明らかにして、個人的な意見を表明していることを明確にする）
- あらゆるメディアやチャネルでのコミュニケーションは良識に基づく判断によって行い、オンラインおよびその他のメディアでの、ディアジオや他の社員、競合他社、社外のステークホルダー、商業上の提携者、顧客、消費者等に関して、誤解を招いたり悪意が感じられたりする発言や、攻撃的、不適切、差別的、威圧的、否定的、不公平な発言、文化的な配慮の足りない発言は控える。



顧客や業者、その他の取引先との関係

私たちは、業務提携者にもこの行動規範のコア原則と同様の原則に従った運営を求めています

当社の価値観を理解し合えるパートナー企業との事業を求めています。当社では、全提携事業者に対して、当社の行動規範に示されているような事業倫理を明確に実行していただくように強く働きかけています。また、ディアジオの代理として事業活動を行うすべての団体には、当社の行動規範およびポリシーに従った行動を取ることを求めています。提携事業者との関係構築に責任をもつ社員は、各事業者が当社の基準に沿った事業を行っていることを必ず確認してください。

事業提携者に最低限求めること:

- 関係法令ならびに職務に関連する業界基準を順守する
- 当社のビジネス行動規範を認識するとともに、自社の運営においても当社のビジネス行動規範の原則に沿うことが求められていることを認識する
- 誠実かつ信頼感のある方法で倫理的に事業運営を行う
- 人権や労働基準原則を尊重する
- 多様性の価値を認め、公正な職場環境実現への責任を果たす
- 安全で健康的な職場環境を維持する
- 環境維持に積極的な役割を果たす
- 恐喝や便宜を図ってもらうための心づけなど、その他の不正な支払いを含む、どのような形で賄賂や汚職を許容することなく、政府関係者(定義はp17を参照)との関わりがある場合には関係を明らかにする。
- 利益相反が生じる可能性がある状況を避け、その可能性がある場合には必ず報告する
- 事業運営の場所がどこであっても、脱税や、他者の脱税の促進は一切容認しないアプローチを取る
- 機密情報や個人情報を積極的に保護し、個々のデータプライバシー権を尊重する

正しい行動を

ディアジオの約束:

- 当社の不完全子会社全社および当社がコントロールするジョイントベンチャー全社において、当社のコア原則に準拠するビジネス行動規範およびポリシーを導入させる
- 当社のコントロールの及ばないジョイントベンチャーにおける取引先には、ジョイントベンチャーおよびその会社の事業運営の双方で当社の行動規範の要件を満たすよう積極的に働きかける

行うべきこと:

- ディアジオを代表する第三者機関や当社の代理人(臨時従業員や契約社員、コンサルタントやエージェントを含む)に、当社の行動規範の認知と同規範への準拠を求められていることを認識してもらう
- 当社の取引業者にも、自社の運営において当社の行動規範と同じコア原則を導入し、取引業者との提携に関するグローバル基準を理解して従ってもらえるよう、積極的に働きかける
- ディアジオを代表して商品やサービスを調達・購入する社員は、購入に関するグローバル基準の要件に従う
- 必要に応じて、事業提携者とともに「顧客を知る」(KYC)と「事業提携者を知る」(KYBP)手順を完了する

事業提携者からの報告も可能です

当社では、ディアジオとの関わりにおいて当社の行動規範への違反もしくはその可能性がある場合には、事業提携者からの直接の報告も受けつけています。ディアジオ社内法務部またはSpeakUpでの匿名での報告も可能です(p45を参照してください)。

ディアジオでは、すべての報告を真摯に対処し、懸念事項を報告したり調査に協力した事業提携者に対する社員からの報復行為はいかなる形でも許容しません。

必ず読んでもらいたい項目についての詳細はp44を参照してください。

必ず読んでもらいたい項目

トピック	必ず読んでもらいたい項目 (すべてMosaicに掲載されています)	対象者
責任ある飲酒	社員の飲酒に関するグローバル方針 DRINKiQ (www.DRINKiQ.com)	全社員 全社員
インサイダー取引	ディアジオ証券取引業務に関する規範	内部情報を保持している可能性のある社員、特にディアジオの株式や証券の取引を考えている社員
利益相反	贈答と接待に関する規則 購入に関するグローバル基準 資源調達に関するグローバル基準	全社員 ベンダーとの関係を管理する社員 資源調達に関わる社員
マーケティングとイノベーション	ディアジオマーケティング規範(DMC) ディアジオデジタル規範 ディアジオの必須のグローバルソーシャルメディア指針 責任ある調査に関するグローバル基準 ディアジオ消費者情報グローバル基準	マーケティング、イノベーション、営業、コーポレトリレーションズ、法務に関わる社員 何らかの形でデジタルマーケティングに関わる社員 何らかの形でデジタルマーケティングに関わる社員 何らかの形で消費者調査や顧客調査に関わる社員 当社ブランドのラベリングに関わる社員
贈答と接待	贈答および接待に関する規則 贈収賄および汚職の防止に関するグローバル方針 政府関係者に対する贈答、接待および後援に必要な事前承認依頼フォーム	全社員 全社員 全社員
贈収賄と汚職	贈収賄および汚職の防止に関するグローバル方針 贈答および接待に関する規則 「事業提携者を知る」(KYBP)基準	全社員 全社員 顧客およびベンダーとの関係を管理する社員または法務に関わる社員
政府と政治団体	贈収賄および汚職の防止に関するグローバル方針 贈答および接待に関する規則	全社員 全社員
不正取引	ブランド保証に関するグローバル方針	営業、マーケティング、調達/ブランド変更、コーポレトリレーションズ、法務に関わる社員
競争	競争および独占禁止に関するグローバル方針 マーケット別ディアジオ競争法に関する指針 競合を知る指針 言語コミュニケーションへの配慮の指針	営業、マーケティング、財務、コーポレトリレーションズ、法務に関わる全社員。職務や役職によっては、サプライや調達に関わる社員
マネーロンダリングと脱税の促進	マネーロダリング防止および脱税促進防止グローバル方針(Anti-Money Laundering and Anti-Facilitation of Tax Evasion Global Policy) 「事業提携者を知る」(KYBP)基準	財務、営業、法務、供給、調達、また顧客および/またはベンダーとの関係を管理する社員全員
制裁	制裁に関するグローバル方針 マネーロダリング防止および脱税促進防止グローバル方針(Anti-Money Laundering and Anti-Facilitation of Tax Evasion Global Policy)および適用される現地指針 「事業提携者を知る」(KYBP)基準	財務、営業、法務、供給、調達、商取引、商業金融、税務、トレジャリー、グループ経理、顧客および/もしくはベンダーとの関係を管理する、または製品の輸出入に関わる他の社員
健康、安全、個人のセキュリティ	各勤務地の健康および安全、セキュリティに関する指針 安全衛生および福利に関するグローバル方針 コーポレートセキュリティに関するグローバル方針 出張のセキュリティに関する指針 イベント計画およびリスク管理指針	全社員 全社員 管理職もしくは出張のある社員 出張のある社員、通常のディアジオ事業所以外で勤務する社員 イベントの企画または運営に関わる社員

必ず読んでもらいたい項目

トピック	必ず読んでもらいたい項目 (すべてMosaicに掲載されています)	対象者
差別とハラスメント	人権に関するグローバル方針 職場における尊厳に関するグローバルポリシー (Dignity at Work Global Policy)	全社員 全社員
人権	人権に関するグローバル方針 取引業者との提携に関するグローバル基準	全社員 業者との取引に関わる社員
情報管理とセキュリティ	情報管理とセキュリティに関するグローバル方針 利用規定 (Acceptable Use Policy) 情報処理基準 情報所在指針	業務でパソコン、ノートパソコン、モバイル機器を使用する社員 同上 同上 何らかの文書の作成および取扱いに関わる社員
データプライバシーと個人情報	データプライバシーに関するグローバル方針 ディアジオデジタル規範 情報管理とセキュリティに関するグローバル方針 ディアジオの危機管理手順	全社員 マーケティングもしくはイノベーション活動の一環として顧客情報を取り扱う社員 個人情報を取り扱う社員 個人情報に関する違反事件に関わる社員
企業の所有物とリソース	勤務地に適用される出張旅費および経費精算に関する方針 購入に関するグローバル基準 情報管理とセキュリティのセクションに記載の方針、基準、指針と同様	全社員 ディアジオを代表して商品やサービスを調達・購入する社員、予算責任者、購買カード (P-Card) を使用する社員、発注に関わる社員
事業記録	全社および現地の権限についてのステートメント (SoA) 勤務地に適用される出張旅費および経費精算に関する方針 「事業提携者を知る」(KYBP) 基準 期末Q&A慣行 (Q&A Period end practices) 収益認識方針	特に上級管理職、または通常の日常的な取引活動を超えて会社の財務に大きな影響を与える取引に関わる社員 全社員 顧客およびベンダーとの関係を管理するまたは法務に関わる社員 商取引または商業金融管理チームの社員 ディアジオに代わり製品/サービスの金融または販売に関わる社員
品質	品質に関するグローバル方針	何らかの形で自社ブランドのマーケティング、デザイン、サプライ、営業に関わる社員
環境	環境に関するグローバル方針 持続可能なパッケージに関する指針 取引業者との提携に関するグローバル基準 GREENIQ	全社員 自社ブランドのパッケージングに関わる社員 業者との取引に関わる社員 全社員
慈善活動	当社の行動規範の贈収賄と汚職セクション (p16/17) 当社の行動規範の贈答と接待セクション (p15)	全社員 全社員
社外コミュニケーションとソーシャルメディア	社外コミュニケーションに関するグローバル方針 社員ソーシャルメディア指針 ディアジオデジタル規範	メディアと関わる社員、公開イベントやカンファレンスにディアジオを代表して参加する社員、記事や書籍、ケーススタディ、その他の宣伝広告の執筆・作成を依頼された社員 全社員 何らかの形で当社の社員を動員してディアジオのマーケティングキャンペーン (実施要請) に関わる社員
顧客や業者、その他の取引先との関係	取引業者との提携に関するグローバル基準 購入に関するグローバル基準 「事業提携者を知る」(KYBP) 基準 および「顧客を知る」(KYC) 手順	業者との取引に関わる社員 ディアジオを代表して商品やサービスを調達・購入する社員、予算責任者、購買カード (P-Card) を使用する社員、発注に関わる社員 顧客およびベンダーとの関係を管理する社員または法務に関わる社員

ヘルプ、アドバイス、懸念事項の相談

誰でもアドバイスが必要な状況に遭遇することはあるものです。相談することに躊躇する必要はありません。

状況はそれぞれに異なるものであり、あらゆる状況に対応できる規範や方針、基準というものは存在しません。正しい行動について迷うような状況に直面したら、必ずアドバイスを求めたり、相談したりしてください。

倫理的な懸念や違反の通報

正しくないことが起こっていると思う場合には、必ず報告してください。当社の規範や方針、基準に違反していたり、違反の可能性がある場合には、すみやかに報告することが求められています。法規制や会計に関する要件に対する違反を知った場合や、その疑いがある場合、その他の疑わしい行為がある場合にも報告が必要です。

報復行為は一切容認しません

懸念を表明したり報告したりすることには勇気が必要です。また、同僚や上司からの反応を恐れて行動に移せないこともあります。

ディアジオでは、問題を報告したり、調査に協力したりした社員に対しての報復行為を一切容認しません。

報告先は...

相談先や報告先がわからない場合は、直属の上司に相談するか、希望する場合は上級管理職に相談することもできます。状況に応じて以下の担当者にも相談してください。

勤務地所轄のコントロール、コンプライアンス&倫理 (CC&E) マネージャー

倫理的な懸念や違反の通報

勤務地所轄の人事部

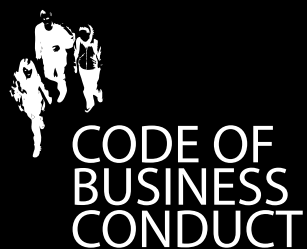
グローバルコンプライアンス&倫理チーム
global.compliance.programme@diageo.com

SPEAKUP匿名通報サービス

当社の行動規範や方針、基準への違反を発見した場合で、社内の者に相談しにくいと感じる場合には、**SpeakUp**を利用してください。SpeakUpは、当社のビジネス行動規範やコンプライアンス、その他の倫理的な問題に関する懸念を匿名で通報できるサービスです。

SpeakUp は、ディアジオからは独立した企業により管理されており、多言語での報告に対応しています。**SpeakUp**への通報の際には氏名を聞かれますが、法的手続きや政府による調査の結果として開示要請のない限り、匿名性は保護されます。法律上許される限りにおいて匿名性は保たれ、通報者を探し出すことはありません。ただし、調査の際に質問があったり、詳細情報を必要としたりする場合に通報者に連絡を取れることなどから、通報者の氏名を提供することが問題の調査に役立つ可能性もあります。

SpeakUpへの連絡先は、MOSAIC およびwww.diageospeakup.comに掲載されています。



2019年7月版

Diageo plc
Lakeside Drive,
Park Royal,
London NW10 7HQ
United Kingdom
電話 +44 (0) 20 8978 6000
www.diageo.com

英国登記番号
No. 233078

この行動規範は以下の言語で
発行されており、Mosaicおよび
www.diageo.com
から入手できます。

アムハラ語
バハサ・インドネシア語
中国語 (簡体字)

中国語 (繁体字)
オランダ語
フランス語
ドイツ語
ギリシャ語
イタリア語
日本語
韓国語

ポーランド語
ポルトガル語
ロシア語
スペイン語
スワヒリ語
タイ語
トルコ語
ベトナム語